

「帰ってきた郡是 昭和レトロ展」 Gunze博物苑が昭和の激動時代の魅力を伝える展示を11/16から

Gunze株式会社（本社：大阪市北区、社長：佐口 敏康）の創業の地、京都府綾部市にあるGunze博物苑では、11月16日（土）から、「帰ってきた郡是 昭和レトロ展」を開催します。

今回の展示では、第二次世界大戦を含む激動の昭和時代における郡是（Gunze）に焦点を当てます。この時代に経営を担った第4代社長、波多野林一にスポットを当てるとともに、さらに、当時の製品がわかるポスターや、Gunzeの歴史を物語る資料を通じて、昭和時代の日常を彩るさまざまなアイテムや情景をご紹介します。



「帰ってきた郡是 昭和レトロ展」会場

「帰ってきた郡是 昭和レトロ展」について

期 間	2024年11月16日（土）～ 2025年1月27日（月） 10:00～16:00 火曜日は休苑日です。
場 所	Gunze博物苑 未来蔵2階（京都府綾部市青野町膳所1番地）
入苑料	無料
展示内容	<ul style="list-style-type: none">・第二次世界大戦を含む激動の昭和時代に、会社の舵取りを担った第4代社長、波多野林一に焦点を当てて紹介します。また、当時のユニークな製品（パラシュートや栄養補助剤など）を現物や写真でご紹介します。・昭和の懐かしい肌着やストッキング製品を、当時のポスターを通じて紹介します。・当時の郡是会社カレンダーから、当時の雰囲気をお楽しみいただけます。・当時のGunze病院（現、綾部市立病院）で使われたレントゲンや噴霧器の現物や写真を通じて、当時の医療現場の様子を垣間見ることができます。

展示品の一部紹介



昭和17年（1942年）、目標地点に正確に物資を投入するために開発された、絹製物量落下傘。Gunzeが保有する絹および絹織物に関する知見が活用されました。



昭和17年（1942年）、蚕のさなぎを高度に利用するための研究を行い、栄養補助剤を開発しました。さなぎを白粉末にして、完全無菌化で、錠剤に加工していました。

本件に関するお問い合わせ先

報道関係の方からのお問い合わせ

Gunze株式会社 コーポレートコミュニケーション部広報IR室（大阪）TEL:06-6348-1314（担当/野中）

お客さまからのお問い合わせ

Gunze株式会社 綾部本社 人事総務部 [TEL:0773-42-3181](tel:0773-42-3181)（担当/天橋）

Gunze博物苑ホームページ <https://www.gunze.co.jp/gunzehakubutu/>